

## 平成29年度第1回学校評議員会記録

1 日 時 平成29年7月4日（火） 13:30～15:30

2 場 所 応接室

3 出席者 竹村祥子 評議員、 稲荷場裕 評議員、 沼田美也子 評議員  
佐藤一義 校長、 高橋良一 副校長、 藤田幸一 事務長、  
佐藤浩之 教務主任、 三浦 穰 生徒指導主事、 及川 満 進路指導主事、  
葛西 崇 総務主任、 久保 幸 総務課員

### 4 内 容

#### (1) 開会

#### (2) 委嘱状交付（校長）

#### (3) 自己紹介

#### (4) 校長挨拶並びに学校経営方針説明（校長）

- ・4月に新入生を迎え、全校生徒は714名。大きな問題もなく順調に学校生活を送っている。現在は第1期定期考査を終え、今月は三者面談、高校野球、夏休み（夏期課外）を控えている。高校総体の主な結果は資料（『部活動について（今年度）』）のとおり。大学の合格者数については『平成29年度（2017）入試合格状況』のとおり。
- ・学校経営計画の「1 現況把握及び将来展望（2）学校に影響を与える変化」については記載のとおり。今年度から「観点別評価」が実施されている。
- ・「3 今後の取組方針」については、(1)～(3)の項目の並び順を昨年度より変更し、『(1) 秩序ある生活態度の育成と安全教育の徹底』を最初に掲げた。考え方の流れとして、このことが『(2) 主体的学習態度の育成と学力向上の推進』や『(3) 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善』より先にあるべきものととらえ変更した。
- ・本日は忌憚のないご意見を頂戴したい。

#### (5) 学校概況等説明（副校長、生徒指導主事、教務主任 進路指導主事、総務主任）

- ・平成29年度生徒概況は資料のとおり。在籍生徒の出身校は全部で58校。通学時間90分未満の生徒が全体の約99%となっている。77%の生徒の通学距離が10km未満である。
- ・昨年度の課題と今年度の主な取組について、資料に沿って説明。

#### (6) 意見聴取

##### （学校評議員）

- ・PTA会報の発行時期はいつか。年3回の発行は難しいか。過去にはPTA役員が主体となり身近な話題を取り上げ、年3回発行していた事もあったが。

##### （総務主任）

- ・PTA総会（5月）と卒業式（3月）に保護者が来校する時期に発行している。例年2回目の会報を発行する際には、編集委員会を開いている。

**(学校評議員)**

- ・いじめを認知した際、学校としてどのように対応しているか。加害者も本校生徒である場合がほとんどだと思うが。

**(生徒指導主事)**

- ・加害者への対応は、被害者側への新たないじめにつながらないように配慮している。

**(学校評議員)**

- ・ネットやスマホ依存は大丈夫か。

**(生徒指導主事)**

- ・アンケート結果によると、スマホ使用時間の学校平均は平日 1.7 時間、休日 3.3 時間である。中には依存が疑われるような生徒もいる。学習手段としてスマホを利用している生徒の調査は今のところ行っていない。

**(学校評議員)**

- ・生徒は積極的か。自ら進んで物事に取り組む態度が必要だと思うが。

**(教務主任)**

- ・積極性にはやや欠けるが真面目な生徒たちである。出された課題はしっかりこなし、さらに課題をほしがる生徒もいる。外部からは大人しいという声も聞かれる。積極的な生徒の中には、大学の多様な入試制度を活用している者もいる。

**(学校評議員)**

- ・アクティブラーニングはどのように実施されているか。

**(教務主任)**

- ・全教科で教科の特性に応じて実施している。アクティブラーニングを取り入れる場面、頻度等は教科によって異なる。今年度は5月に全職員参加のアクティブラーニングの研修会を実施し、学校全体で取り組んでいる。

**(学校評議員)**

- ・保護者とのコミュニケーションを増やすという目的で、学校からの「発信」は十分できているのではないか。加えて、保護者からの声を取り上げるのも必要と考える。

**(学校評議員)**

- ・(「積極的な生徒」という事に関しては) 大学においても、全般的に個々の学生が専門を選ぶ際にきちんと選んでいるか疑問に思うところがある。自分で選んだコースであっても、実習などで少し加重がかかると踏ん張れずに休む学生が増える、という実態がある。「主体的な学習」となると難しい。

**(7) 閉会**